

2022年度年間指導計画

【4歳児】		園長		主任		担任			
年間目標 (育てたい子どもの姿)	<ul style="list-style-type: none"> 情緒の安定をもとに、自分らしさを十分に発揮しながら、喜んで活動に取り組む。 全身を動かして遊ぶ楽しさを味わい、保育者や友だちとの関わりを深める。 身近な自然や社会の出来事に関心を持ち、見たり触れたりして心豊かに過ごす。 色々な経験を通じて、生活に必要な身近な言葉や優しい言葉使いを身につけていく。 		園目標	<ul style="list-style-type: none"> 元気で明るい子(たっぶり遊んで、よく食べて、ぐっすり眠る) 意欲を持って行動できる子(十分に育ちを見守られながら、さまざまな体験を通して、豊かな感性を育てる) 		評価・反省			
	期	1期(4月～5月)		2期(6月～8月)	3期(9月～12月)		4期(1月～3月)		
行事	入園・進級式、こいのぼり集会、内科検診、避難訓練、サッカー教室、親子交流会(クラス懇談会)、誕生会、身体測定		歯科検診、水遊び、七夕集会、夏祭り、誕生会、身体測定、避難訓練		運動会、さつまいも掘り、内科検診、ハロウィン、クリスマス会、誕生会、身体測定、避難訓練		節分、生活発表会、ひな祭り、お別れ会、卒園式、誕生会、身体測定、避難訓練		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 進級を喜び、新しい環境に慣れ安心して過ごす。 気の合う友だちや保育者と春の遊びや好きな遊びを楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> 梅雨や夏ならではの遊びを安全に思いきり楽しむ。 身の回りのことに進んで取り組みながら、健康や清潔を意識し、自ら快適に過ごそうとする。 		<ul style="list-style-type: none"> 友だちとイメージや目的を共有し、関わり合いを楽しむ。 秋の自然に触れ、植物の名前を言ったり教えたりする。 目的をもって行事に臨み、努力や思いやり、協力することを味わい成功や失敗を経験する。 		<ul style="list-style-type: none"> 生活や遊びの決まりを守り、生活習慣を身に付け進級することへの自信を持つ。 相手の気持ちに気付き思いやる心を持つ。 自分なりのイメージを持って、友だちと伸び伸び表現する喜びを味わう。 		
養護	生命 情緒	<ul style="list-style-type: none"> 健康や安全の大切さを知らせ、危険や安全の約束事を確認する。 進級にともなう不安や期待を保育者に受け止めてもらいながら安心して過ごせるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> 衣類の調節をこまめに体調を崩さないようにする。 暑さ対策をして、日射病などにも気を付けてながら水の事故防止に努める。 		<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達に合わせ、全身を使う運動を多く取り入れ、体を動かす楽しさを感じる。 運動量が増えるので、休憩を十分に取って、体調を崩したり、怪我をさせないようにする。 行事を通して友達との関わりを深めながら、徐々に自分を発揮できるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> 手洗いうがいをしっかり行い、換気や清掃でも感染症の予防に努めていけるようにする。 自分で選択し自発的に活動に取り組む中で、達成感や満足感を味わえるようにする。 	
		教育	健康 表現 人間関係 環境	<ul style="list-style-type: none"> 歩く、走る、跳ぶなどの全身を使った運動遊びを十分に楽しむ。 保育者との1対1の関わりの中で親しみを持って安心して過ごす。 描いたり作ったりしたものを遊びに使ったり、飾ったり、見せ合ったりする。 新たな生活リズムや環境に自ら関わり身の回りのことを自分で行う。 季節歌をピアノやCDの音に合わせて歌うことを楽しむ。 経験したことや興味のあることを話し、保育者や友だちと喜んで会話をする。 身近な自然、環境への関わりや遊び方を体験していく。 		<ul style="list-style-type: none"> 体の健康に関心を持ち、異常を感じたときは保育者に伝える。 体調の変化に気づき、保育者の力も借りながら汗を拭いたり、水分補給したりする。 夏の遊びを楽しむ中でお互いにアイデアを出し合い友だちとの関わりを深める。 自分のしたいことや感じたこと、経験などを保育者や友達に話し、伝える喜びを味わう。 集団生活に必要な決まりを当番活動やグループ活動を通して知る。 人の話を聞くことや自分の考えを相手に伝えるように話すことの大切さを知る。 		<ul style="list-style-type: none"> できないことをできるようになると挑戦したり、目標を見つけて取り組む経験をする。 友だちと競い合ったり、力を合わせてやり遂げたりしながら達成感や満足感を味わう。 積極的に園外へ出掛け、自然環境に興味を持って伸び伸びと遊ぶ。 文字や数、量や図形で遊ぶことを楽しむ。 イメージをした上で作る、描く、試すなどを経験し想像力を豊かにする。 又、共通のイメージをもとに遊びを楽しむとする。 友だちと共通の目的に向かって、協力する大切さやおもしろさを知る。 	
環境 配慮	<ul style="list-style-type: none"> 興味を想定してコーナーごとにいろいろな道具や粗材を用意しておく。 個々の心の動きをあたたく受容、共感しながら子供たちの安定した活動へとつながるようにする。 初めての活動へ取り組む際や初めての用具・玩具を使う時は、集まりの場を設け伝えていく。 挨拶など何気ないやり取りの中で十分なスキンシップを取り、信頼関係を築いていく。 			<ul style="list-style-type: none"> 持ち物の整理や片付けを確認しながら、丁寧にやる大変さを伝える。 子どもたちと一緒に遊びの安全面を意識したルールを作る。 子ども達の様々なアイデアを取り入れながら柔軟に遊びに発展させていくようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> 簡単なゲームや伝承遊びを通して、大勢で遊ぶことを楽しみ、仲間同士での交流を深められるようにする。 時には我慢をしたり、折り合いをつけることで楽しく遊べることに気付けるようにしていく。 子ども達のイメージやアイデアをくみ取り、難しい部分は一緒に行って、表現する楽しさへとつなげていく。 氷、雪、霜等の冬から春への自然現象の機会を逃さずに取り上げ、季節の移り変わりを体感できるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> 発表会や様々な役割分担を通じてみんなで一つの目標に向かえるようにしていく。 お互いの成長を認め合えるようにしながら進級への期待感をもてるようにする。 友だちとアイデアを出し合う機会を作り、自己主張を認めていくことで、自信が持てるようにする。 友だちの遊び、挑戦している姿を伝え、刺激を与えたり、共に目標を見つけていく。 	
	支援者	保護者	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の思いを聞いたり、子どもの様子を伝えたりしながら安心して預けられるよう信頼関係を築いていく。 園と家庭で連携して進めたいことを意味づけとともにお知らせする。 		<ul style="list-style-type: none"> プールや衣服などの準備を整えてもらい、安全にプールや水遊びが行えるよう連携する。 保育参加等で園の様子を知り、保育の姿を共通理解できるようにする。(感染状況による) コロナ対応での食事の仕方や取り組みについて共有し、安心して過ごせる様にする。 		<ul style="list-style-type: none"> 行事等での子どもの姿を見てもらい、当日までの努力の過程などを伝え、生長を共に喜ぶ。 生活リズムを整え、疲れが残らないよう睡眠の大切さを伝えていく。 		<ul style="list-style-type: none"> 一年間の園に対しての協力に感謝をし、成長と共に喜ぶ。 個人面談を通し、成長を伝え、次への期待を持てるようにしていく。 ★送迎時、なるべく顔を合わせて、直接子どもの様子を伝えたり取り行う。
食育			<ul style="list-style-type: none"> 絵本や図鑑等で野菜について知識を得ながら野菜の苗植えの話し合いをする。 食事のマナーや箸の持ち方などに気を付け、意欲的に食事をする。 		<ul style="list-style-type: none"> 調理前の食材に興味を持ち、育てた野菜の成長を観察したり、収穫した野菜を調理し食べる事を楽しむ。 食器のもちかたや並べ方がわかり、意識を持って正しいマナーで食べようとする。 		<ul style="list-style-type: none"> 食の面からも秋を感じ、季節と食との繋がりへの興味を深める。 食前・食後の準備や片付けを行い、食事への関心、意欲を高める。 		<ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統的な料理への関心を高める。 友だちと一緒に食べることを楽しみ、人との交流を通した楽しい食事の大切さを知る。